

# 府労組連ニュース

大阪府職員労働組合06-6941-3079 / 大阪教職員組合06-6768-2330

「大阪維新プログラム(案)」  
第4回総務部長交渉  
No.5 2008年6月20日  
大阪府関連労働組合連合会

## 生活を脅かし、雇用を破壊する人件費削減は撤回せよ! 本日・集会後に橋下知事と直接交渉!!

### 府民との共同で 「大阪維新プログラム案」の抜本見直しを

六月二〇日(金) 府労組連は、総務部長出席のもと、第四回団体交渉を行いました。前回の交渉で人件費削減撤回要求に対し、当局が「知事の政治的判断」を繰り返す中、府労組連は知事との直接交渉を強く要求してまいりました。交渉の冒頭、総務部長は都合で知事は出席できないと謝罪するとともに、次回交渉(本日の夜・時間未定)では知事が出席することを明らかにしました。

なお、交渉に先立って、八二四に及ぶ職場決議、個人署名の追加分八七五名(累計二四八一五名)を手交しました。

#### 労使協議を尽くし、 使用者責任を果たせ

府労組連は、労使合意による賃金・勤務条件の決定が近代的労使関係の基本であり、あらためて労使慣行、労使協議の遵守を厳しく求めました。当局は、「給与・勤務条件は労使協議事項と認識している」と回答しました。

「赤字を膨らませてきた大型開発を中止せよ」「一〇〇億円削減ありきで、府民と職員への犠牲押し付けやめよ」「賃金削減提案は、賃金決定原則をふみにじるものだ」「非常勤職員の解雇は絶対認められない」「前例もなく、理屈も通らない退職金削減は許せない」など、府労組連の追求に対し、当局は、「人事委員会勧告、地公法二十四条の尊重の気持ちは変わらないが、悩んで提案した。雇止め、人件費削減、退職金の減額についても職員の生活への影響やその額についても重く認識している」と言いつつ、「財政が厳しいので我慢をお願いしたい」と、従前と変わらない使用者責任を放棄する不向きな回答に終始しました。

府労組連は、あらためて知事との直接交渉を要求するとともに、

以下六項目について知事からの回答を求めました。

- ① 労使慣行の尊重と誠実な労使協議の遵守
- ② 地公法二十四条の「均等の原則」、人事委員会勧告の尊重など、公務員賃金の決定原則に反する
- ③ 退職手当削減は賃金の後払い、退職後の生活保障であり、財政問題を理由とした減額は国・他府県でも無い。公平性と合理性を著しく欠く退職手当削減はやめよ。
- ④ 教務事務補助員等の解雇は、雇用を確保すべき使用者責任の放棄。また、教育活動にも重大な支障が出る。今でも劣悪な非常勤職員の賃金削減は、均等待遇にも反し、ワーキングプアの拡大に手を貸すもの
- ⑤ 障害を持つ児童・生徒への対応、個別指導・不登校など配慮を必要とする子どもたちの対応など、重要な役割を担っている。また、定年後の再雇用の幅を狭める制度の廃止はやめよ。
- ⑥ 「一〇〇億円削減」に固執することなく、国による地方交付税の削減撤回、ムダな大型開発の見直しや同和関連事業の終結、大企業への応分の負担を求めるなど、府民生活擁護と財政再建を図る方策について、十分な府民的議論を

行うこと。  
六点について再度、知事の回答を求める。と要請しました。

#### 府職労・大教組から職場実態に基づく怒りの発言

〈大教組〉『臨時職員の学期雇用と言う雇用形態は理不尽な働き方』『皆さんの学校での頑張りは承知している』と府教委から言ってもらってきた。年休付与の実現や健康診断の公費負担もやっと実現した。喜びもつかの間、事業廃止は首切りそのもの。子どもの成長に役に立っていると言う思いで劣悪な雇用条件でも働いてきた。三五〇人の首切りは知事が雇用促進、失業対策などに乖離したところにいることを認識してほしい

#### 〈大教組〉五月下旬に学校に配られた知事の手紙にたいして組合員に『怒りの手紙』を書いてもらおう

『朝七時から夜八時までの勤務の実態。休憩もない。土日出勤の実態。教職員にメンタル面の病気が多い。ハードな仕事である証拠。実態を見て』『三八年間子どもに何らかの貢献をしてきた。もうすぐ退職の矢先にカットとは何事か。生活設計の見直しを家族で行なっている』『常勤講師をしている。財政破綻は無駄な大開発ではないのか。非常勤・常勤講師は使い捨て同様の雇用でその上賃金カットは許せない』『財政赤字はオール与党議会と歴代の知事の責任。弱い立場のものに赤字の責任を強いるな』。これが、多くの職員の声

〈府職労〉ムダな事業は根本的に見直すことが大事。これまでの財政再建で私たちは常に指摘をし

てきた。今回の維新プログラムでも最大の問題であるムダな開発にメスを入れていないことです。リンクウタウンや箕面森町の開発などは資金の大半が借金でまかなわれており、今の財政悪化の要因のひとつ。知事は『破算会社の従業員』というが、箕面森町の開発では全て売り切っても750億円もの赤字、これまで同様に借金をしてまでも資金はだすのはおかしい。

企業局時代にリンクウタウンの開発で当時の五五〇〇億円の事業費のうち二〇〇〇億円は財源不足になることを承知で事業を推進して結果、大きな借金の一因になった。今こそ、ムダな大型開発をやめるべき。将来にわたって借金をしながら、指先の血止めをしても、また、職員に対する痛みを押し付けても、本当に府の財政再建につながるがらない。

#### 〈府職労〉知事は職員向けのメールでは、『職員の賃金が高くはないことはわかっている』と言いつつ、マスコミには賃金は半分

でよいと言うなど、その真意が理解できない。府民と職員に我慢を押し付けるのではなく八八〇万府民の利益を守るのが知事のやるべきこと。弱者切捨て、大阪府解体政策はやめるべき」と、三人が怒りを持って発言しました。〈府職労〉「府民の健康の砦である保健所に勤めている。この予算もカットされている。感染症予防や食品、生活環境を守るために地域で様々な事業を行なっている。知事は職員向けのメールでは、大阪府の健康指標は全国ワーストワンだからだ。知事は『次世代に負担を残さない』と言うが、府民の健康破壊が進み結果として次世代に負担を残す

## 会場配置

府職労

自治労連

府民団体

大阪労連

大教組

### 舞台

# 大川

天神橋

天満橋

当局回答に対して府労組連側は、「府民の生活を守りながら財政再建をするという選択が重要」「財政赤字の原因を明確にすること」「大阪経済に与える波及効果を明らかにすべし」「補助金を削る、府民に負担を強いる、人件費を切り下げるのでは、大阪を壊すだけになる」と、厳しく指摘しました。